



「にしとうきょう環境アワード」で表彰された取組とはどのようなものですか？

第3学年

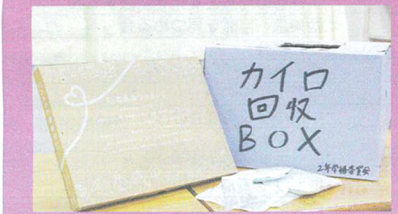
生徒会本部

IJ学級



角田 美郁さん 深瀬 千帆さん

私たちは2つの活動をしました。「使い捨てカイロの回収」は使用済みの使い捨てカイロを集め、中に含まれる鉄や川の水を浄化している大阪府の企業に送る活動です。そして「古着deワクチン」は不要になった衣類や服飾雑貨を回収してリサイクルし、ポリオワクチンを届けようという取組です。



西谷 温乃さん 渡辺 一花さん

私たちは「エコキャップ運動」に取り組みました。ペットボトルのキャップを集めてリサイクルし、発生した利益を発展途上のワクチン接種費用として寄付しています。リサイクル、CO₂削減、ワクチン支援のほかにリサイクルの過程で障害者の雇用も生み出しています。



江副 光留さん 阿部 蒼太さん

私たちは「花いっぱい運動」と「牛乳パックから和紙作り」に取り組んでいます。「花いっぱい運動」では、プランターに花を植えて校舎の玄関に置いています。植物を育てることで地球温暖化と植物の関係について学びました。「牛乳パックから和紙作り」は、リサイクル意識を高めることを目的に行っています。



第1回にしとうきょう環境アワードを受賞した田無第一中学校の生徒の皆さんと市長がその取組と西東京市のミライについて対談しました。

※当日の対談は、マスクを着用するなどの感染症対策を講じて行いました。

Q1 なぜこの取組をしようと思いましたか？

深瀬さん 1年生のときの総合的な学習の時間で、SDGsについて学んだことがきっかけです。校外学習ではSDGsに取り組む神奈川県横浜市の企業を訪問し、実際に社会で活躍されている方にお話を伺いました。世界の状況やさまざまな課題を考えて解決しようとする人たちの存在を知り、自分たちも力になりたいと考えるようになりました。そこで1年生のときの学級委員会で取組めそうな



深瀬さん / 角田さん

活動を調べたところ、「使い捨てカイロの回収」や「古着deワクチン」をやることになりました。

渡辺さん 「エコキャップ運動」は家庭科の先生が授業で話してくれたのがきっかけです。プラスチックごみ問題が話題になっていて、私たちの身近で貢献できることだと思ったので始めました。

家庭科では、SDGsに関する授業もたくさんしていただき、中でも衣服の大量生産、大量消費の授業は「古着deワクチン」の取組につながったと思います。

江副さん 田無一中には花壇が少なく、花がいっぱい咲く学校にしたいと思いました。また、それが環境問題を考えるきっかけになるのではないかと考えました。

「牛乳パックから和紙作り」は、毎日飲んでいる牛乳パックを自分たちでもリサイクルできることを知り、取り組んでみました。SDGsの目標12に「つくる責任、つかう責任」があり、自分たちが使っていたものについても責任を持ちたいと思いました。**市長** ありがとうございます。最初の深瀬さんの

話では、企業を訪問して実際にSDGsに取り組んでいることに気づいて自分たちもやってみようと思っただけだと思っています。渡辺さんの活動は、衣服の大量生産・大量消費を授業で学んでワクチンにつながっていくという、まさに1つの気付きですね。江副さんの話で出た「つくる責任、つかう責任」は企業だけでなく市や市民の皆さんにも当てはまる重い言葉だと思います。

Q2 どんな点を工夫しましたか？

角田さん 「使い捨てカイロの回収」は誰でも参加できるように、そして強制することなく、自分たちが楽しみながらできることを意識しました。回収箱の設置場所も、階段の前に置くことで帰りにみんなが入れられるようにしました。最初は学年内での取組だったのですが、中央委員会で報告すると当時の先輩方も協力したいとおっしゃってくださったので、他のフロアにも回収箱を設置しています。

「古着deワクチン」は私が学年のみんなの前でプレゼンテーションを行い、意図や自分の思いを伝えました。参加しやすいように、集める時期も衣替えに合わせています。使えない衣服だと現地で廃棄され、かえって環境汚染につながるおそれがあるので1着ずつ確認しながら発送しました。

西谷さん 「エコキャップ運動」では、みんなに関心を持ってもらえるように、生徒会通信はもちろんですが、ポスターの掲示や朝礼での呼び掛けを行いました。あと回収箱を作成するとき、「この辺なら500個」と見ただけで集まっている量が分かるように工夫しました。

朝礼で集まった個数を報告するときも、単に個数を伝えるだけでなく「ワクチン何回分が集まった」と分かりやすく説明することを心掛けました。最初は2〜3カ月の予定で活動を始めましたが、あまりにも多く集まったので、常設した方がいいと判断して現在も活動を続けています。



渡辺さん / 西谷さん

阿部さん 「花いっぱい運動」では、水やりを欠かさず、枯れた花はこまめに摘み取っていました。

そうすることで長く花を咲かせることができるからです。

「牛乳パックで和紙作り」では、牛乳パックを丁寧に洗い、内側のコーティングをきれいに剥がすことを心掛けました。この作業を行うことで、でき上がった和紙が美しく仕上がります。

市長 皆さんの話に共通しているのは、無理にではなく普段から楽しみながらやっという姿勢ですね。楽しみながら苦にならないように続けていくのは、長続きさせる秘訣だと思います。そういう気持ちでこれからもお願いします。

Q3 西東京市をどんなまちにしたいですか？

深瀬さん まずは多くの方に私たちの活動を知っていただきたいと考えています。そして西東京市の市民みんなで一丸となってSDGsの目標に向けて取り組んでいけるようになりたいです。今回、私たちは表彰していただきましたが、ほかにもSDGsや環境を意識して活動している方はたくさんいると思うので、協力できることがあれば一緒にやりたいと思います。自然環境だけでなく、さまざまな立場の人やものに優しい、誰もが幸せに暮らしていけるまちにしていきたいですね。

渡辺さん 私たちの学校で「エコキャップ運動」や「使い捨てカイロ回収」などの取組をしているので、誰でもできて気軽に参加することができることを多くの人に知ってほしいと思います。あとはキャッ

プやカイロはごみとして普通に処分するとCO₂などを排出してしまうと思いますが、取組を行うことでそのごみがワクチンなどを救うものになることも知ってほしいですね。

江副さん 私はもっと緑を増やして、地球温暖化防止にもつながる住みやすいまち、きれいなまちにしたいと考えています。3R (Reduce, Reuse, Recycle) がしっかりできている、資源を大切にす



江副さん / 阿部さん

市長 みんなが幸せに暮らせるとか、人やものに優しいまちとは、全ての人に優しいということになると思います。「古着deワクチン」や「エコキャップ運動」でワクチンを届けて世界の子どもたちを救うという優しさは大切にしたいですね。また、「花いっぱい運動」や「牛乳パックから和紙作り」のような身近な日々の取組も大切ですね。皆さんの活動は周囲の人も見ているので、自信を持って続けていってください。

本日はありがとうございました。